

一般財団法人日本エスペラント協会

2010年度 事業計画

前書き

エスペラントは、国際間の言語の不平等を解消することにより、言語差別に基づく不当な差別を防止し、国際交流に資するとともに、国際感覚にすぐれた文化資産を築くものです。本会はエスペラントの普及発展をはかることにより、このようなことが実現する社会を志向します。

本会は、エスペラントを支えてきたエスペラント支持者、そして新たにエスペラントに触れる方々を会員として結集していくよう努力します。

本会は次のことに重点をおいて事業を進めます。

1. エスペランティストの増加と会員の増加

現代におけるエスペラントの意義を広報し、エスペランティストを増やすとともに、その中から本会の会員を増やします。また、3項にある体制転換にともなう会員との新たな結びつきを検討します。

2. 2011年に韓国で行うエスペラント大会の準備

新たな試みとして、第98回日本エスペラント大会（2011年）を韓国内で韓国エスペラント大会と同時期に開催し、共同大会（Komuna Kongreso）とします。これにより、両国のエスペランティストの直接的な交流の場を広げ、魅力的なエスペラント実用の場を設けます。

3. 公益法人改革の準備

従来、本会は財団法人として活動してきましたが、公益法人制度関連3法により、あらたな法人形態が求められています。これに対処していきます。

1 総務部**基本方針**

1. 財団法人移行を視野に入れ規程類の見直しを進める。
2. 減少状態にある会員数に歯止めをかけ増加に転ずるための各部の諸活動を支援する。

定例事業

1. 総務部関連諸事業、施設管理事業を、事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行する。
2. 図書カタログを発行し、図書販売に資する。（隔年発行）
3. 図書館関連事業をボランティアの協力を得て推進させる。
4. 八ヶ岳エスペラント館を八ヶ岳エスペラント館運営委員会によって研修施設として運営する。
5. 世界エスペラント大会（第95回、キューバ）とアジアエスペラント大会（第6回、モンゴル）へ向けて参加旅行団を企画する。

重点事業

1. 財団法人移行への諸準備を行う。
2. 図書販売促進のための対策を立案し実行する。
3. 希望者からエスペラント関連著作の著作権の譲渡を得て管理する事業について検討する。

2 財務部**基本方針**

1. 収支均衡を目指して、堅実な財務運営を図る。

定例事業

1. 本会事業の執行を財務面から支える。

重点事業

1. 財務面から法人移行についての検討を進める。

3 組織部**基本方針**

1. 本会の基盤である会員の活動への支援および会員からの支持の強化と会員層拡大を図る。
2. 日本を代表するエスペラント組織として、エスペラント諸事業実施のために、国内エスペラント団体と連携する。
3. 日本エスペラント大会を継続して開催する。

定例事業

1. 会員・維持員会関連事業

- 1) 会員の拡大・定着への働き掛けを継続する。会員状況を把握し、活動基礎資料として関係者に提示する。
- 2) 会員および会員による維持員会団体と、定例諸会議、維持員会報などを通じ、意見交換、情報共有、施策反映を行う。

2. 国内エスペラント団体に関する事業

- 1) 国内の諸団体のエスペラント活動を後援する。エスペラント懇談会等、普及活動の経験交流と連携の場を提供する。
- 2) 国内のエスペラント活動について、「エスペラント運動年鑑」を作成し公表する。

3. 日本エスペラント大会の実施

- 1) 地元組織委員会、日本エスペラント大会常置委員会（KKK=Konstanta Kongresa Komitato de Japano Esperanto-Kongreso）および九州エスペラント連盟とともに、第97回日本エスペラント大会（2010年長崎市）を開催する。引き続き大会の準備に当たる。
- 2) 日本エスペラント大会の継続的開催のために、前項常置委員会委員としての任を果たす。また、大会常任書記（KKS=Konstanta Kongresa Komitato）の活動を支援する。
- 3) 日本エスペラント大会支援基金を運営する。

重点事業

1. 財団法人の見直しに対応して、維持員会に替えて、団体会員制度の検討を進める。
2. 会員数維持への当面と中期の対策を各部とともに検討実施する。
3. 日本エスペラント大会番組企画等、大会開催準備への支援を拡大する。

4 国際部**基本方針**

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会(UEA=Universala Esperanto-Asocio)及び同会のアジア運動委員会(KAEM=Komisiono pri Azia Esperanto-Movado)と協働して推進する。
2. 日本のエスペランチストが行う国際的なエスペラント活動を支援する。
3. 外国のエスペランチストに日本の各種催事への参加を促す。

定例事業

1. UEA及びKAEMとの協働

- 1) 日本のUEA委員、UEAデレギート、KAEM委員やKAEM協力者とともに、UEA及びKAEMの諸活動に協働する。
- 2) 2010年度に行われる国際的なエスペラント大会への参加及び協力を呼びかける：第6回アジアエスペラント大会（モンゴル）、第95回世界エスペラント大会（キューバ）、第66回国際青年エスペラント大会（キューバ）、第29回日韓中青年セミナー（ベトナム）。

2. 日本のエスペランティストへの支援として、国際文通サービスを継続する。
3. 第97回日本エスペラント大会で、アジア活動分科会、UEAデレギート分科会、Pasporta Servo分科会を催す。

重点事業

1. 第6回アジアエスペラント大会（6月19日～23日、モンゴル）に参加・協力を呼びかけ、その参加旅行団に協力する。
2. 日韓共同開催エスペラント大会（2011年10月、韓国）に参加・協力を呼びかける。
3. 日本国内のエスペラント活動のニュース(催事においては予告及び報告)を国際的なメーリングリストに発信する。

5 編集部

基本方針

1. 会誌「La Revuo Orienta／エスペラント」を、本会の活動方針に沿って編集発行し、日本のエスペラント運動の発展に寄与する。
2. 全国、地方、県など各段階でのエスペラント運動を相互に結ぶ機能を強化する。
3. 編集に当たっては、運動、学習、教養の3つのバランスを重視し、エスペラント文と日本語文の分量の調和をはかり、会員各層の要望に応じられる機関誌作りを行う。

定例事業

1. A5判40ページを原則とした機関誌を毎月（8・9月は合併号）発行する。
2. 電子版の発行体制を整え、音声版、電子版（PDF版）を発行する。点字版の発行に協力する。
3. 編集体制を強化する。
 - 1) 毎月編集会議を開く。年に1回拡大編集会議を開き、会員の声を誌面に反映させる。
 - 2) 編集委員の拡大を図り、委員は編集技術の更なる向上を心がけることとする。

【重点事業】

1. 情勢に応じた誌面を作成し、エスペラント運動に貢献する。
 - 1) 日本エスペラント大会、世界エスペラント大会などの国内外のエスペラント行事の成功へ向け連携する。
 - 2) 新公益法人への移行へ向け、会員への周知を行う。
2. 会員の拡大を図るために各部とさらに提携する。

6 研究教育部

基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者に語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成、エスペラント入門のための素材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組む。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組む。

定例事業

1. エスペラント学習者の語学力向上を支援し、エスペラント指導者の育成を行う。
 - 1) 本会自ら、各種セミナー、「JEI講座」、その他の講座・講習会・講演会等を行う。
 - 2) 組織部と協力して、全国一斉講習会の開催を呼びかける。またエスペラント界外の様々な団体・組織等に講座開催を呼びかけ、要請に応じて講師派遣を行う。
 - 3) エスペラント学力検定試験と新学力テストを実施する。特にエスペラントを正規科目として取り入れている学校での検定試験実施を進めていく。

2. 学校におけるエスペラント授業への支援にあたっては、前項以外にも次の活動を行う。
 - 1) 国際教育者エスペランティスト連盟 (ILEI) 日本支部の活動を支援し、協力していく。
 - 2) 日本の小・中・高校および大学等でのエスペラント教育について現状を把握し、調査を行う。
3. エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を推進する。
 - 1) 紀要「エスペラント研究／*Japania Esperantologio*」第4号を発行し、第5号を編集する。
 - 2) 日本エスペラント大会で、研究発表会、大会大学等を統合した「エスペラント講座／*Esperanta Prelegaro*」（仮称）を実施する。

重点課題

1. 教材開発として、「新教材企画委員会」で入門講習会に相当するレベルの教材セット（解説＋練習問題多数）を作成・試行する。
2. エスペラントセミナーについては、第43回エスペラントセミナー（5月、千葉市）を実施するとともに、各地のグループ・団体と共催で行う場合の円滑な運営のために手引書を作成する。

7 広報部

基本方針

1. エスペラントの認知度を高めるために、行事等の機会をとらえた広報を展開するとともに、インターネットを通じて幅広い情報提供を行う。

定例事業

1. エスペラント普及に資する行事などの広報を行う。
2. ウェブサイトを通じた広報を行う。

重点事業

1. 全国の講習会情報を集約して広報する体制を整備する。
2. 本会入会用の入会案内書を改訂する。

8 出版部

基本方針

1. エスペラントに関する図書出版活動を行う。
2. 日本エスペラント学会における出版物の現状を把握整理する。

定例事業

1. 日本エスペラント大会における記念出版物、*Ponto*双書、*Fronte*双書の継続発行
2. 研究教育部の紀要「エスペラント研究」、教材セットなどの発行援助
3. その他

重点事業

1. 「辞書出版委員会」（仮称）を発足し、エスペラント日本語辞典、日本語エスペラント語辞典の改訂について検討を開始する。また「エスペラント日本語辞典」の正誤表を公表する。
2. 「エスペラント便覧」の刊行について検討する。

9 ハケ岳エスペラント館

基本方針

1. 日本エスペラント学会の研修施設として、エスペラント運動に寄与する。
2. 今後20年間は使用できるよう管理保全に努める。
3. 年間400人以上の利用を目指す。

定例事業

1. 今年度の開館期間は4月10日（土）から11月23日（火、祝日）までとする。

2. 開館期間中は、週末と夏期は当番を置き、利用者の便を図る。
3. 館の運営に関して次の活動を行なう。
 - 1) 開館時、閉館時には、運営委員会を開く。
 - 2) 運営委員を増やす。
 - 3) ライセンス保持者を増やす。また既にライセンスを持っている人への再講習会を希望者に実施する。
4. 次のように広報活動を行なう。
 - 1) 日本エスペラント大会で八ヶ岳エスペラント館分科会を開く。
 - 2) La Revuo Orienta へ「八ヶ岳だより」の連載。
 - 3) 各地のエスペラント会会誌への記事の送付。
 - 4) エスペランチストのインターネット網ERAJへの記事の送付。
 - 5) 八ヶ岳エスペラント館のホームページの充実。
 - 6) 国際的に記事の配信を行う。
5. 館の管理保全について。
 - 1) 火災報知器設置や消火器交換など館内設備の管理。
 - 2) 什器備品の整備。
 - 3) 日常的に、建物の点検を行う。

重点事業

1. 館の保全のための総点検を行う。
2. 利用者拡大のために、各地のエスペラント会に合宿を企画してもらえるよう訴える。
3. 運営委員も積極的に催しの企画を立て、利用の拡大を図る。